

## 5. がんの早期発見

	活動 アウトプットをもたらす活動の内容	結果(アウトプット) アウトカムをもたらすために期待される活動の結果	中間アウトカム 目標アウトカムに資する中間的な変化	目標アウトカム 達成すべき目標 (あるべき姿)	
1	1. 県は、がん検診受診率の向上のために、民間企業・団体や患者団体との連携による官民一体となった受診啓発を行う。	1. がん検診企業アクションを活用し、県内職域でのがん検診に関する普及啓発と受診率向上が進んでいる。 2. 県内メディアをと連携し、がん検診に関する普及啓発と県民の理解が進んでいる。 3. 県内団体や患者団体と連携し、パンフレットやリーフレット、講演会の開催が進んでいる。	1. 科学的根拠に基づき県内で実施されているがん検診の県内受診率がある。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、40%以上となる。	5年以内に、県内のがん検診受診率を50%以上とする	
2	1. 市町村は、がん検診受診率の向上のために、受診対象者の把握と、コール・リコールシステムを含む受診勧奨体制の整備する。 2. 市町村は、県に多い子宮頸がんなど、女性特有のがん検診推進事業の実施を行う。 3. 市町村は、県との連携による、がん検診費用の一部助成する。	1. 全ての市町村で、その受診対象者の把握と、コール・リコールシステムを含む受診勧奨が行われている。 2. 全ての市町村において、県に多い子宮頸がんなど、女性特有のがん検診事業が実施されている。 3. 全ての市町村において、科学的根拠があるとされるがん検診について、何らかの形でがん検診費用の一部助成制度が設置されている。	1. 受診対象者の把握と、コール・リコールシステムを含む受診勧奨が行われている市町村の数が増加する。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、50%以上となる。  2. 県に多い子宮頸がんなど、女性特有のがん検診事業が実施されている市町村の数が増加する。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、50%以上となる。  3. 科学的根拠があるとされるがん検診について、何らかの形でがん検診費用の一部助成制度が設置されている市町村の数が増加する。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、50%以上となる。		
3	1. 医療機関は、がん検診受診率の向上のために、がん検診実施医療機関における、がん検診を受診しやすい環境の整備する。 2. 医療機関は、医師会との協力による、医療機関受診患者に対するがん検診の受診勧奨の実施を行う。	1. 全ての市町村で、休日または夜間にごがん検診を受診できるがん検診実施医療機関が一つ以上整備されている。 2. 全ての市町村で、がん検診を受診する子育て中の女性を対象とする託児施設等が一つ以上指定されている。 3. 全ての医療機関や診療所で、がん検診に関するリーフレットやパンフレットが設置され、医師による医療機関受診者に対するがん検診受診勧奨が行われている。	1. 休日または夜間にごがん検診を受診できるがん検診実施医療機関が一つ以上整備されている市町村が増加する。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、50%以上となる。  2. がん検診を受診する子育て中の女性を対象とする託児施設等が一つ以上指定されている市町村が増加する。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、50%以上となる。  3. がん検診に関するリーフレットやパンフレットが設置され、医師による医療機関受診者に対するがん検診受診勧奨が行われている医療機関や診療所の数が増加する。 ・26年度には、30%以上となる。 ・29年度には、50%以上となる。		
4	1. 県および市町村は、科学的根拠に基づいたがん検診の実施のために、県生活習慣病検診協議会との連携による、がん検診の対象となる検診項目の決定する。	1. 科学的根拠に基づくがん検診の対象となる検診項目が検討・決定される仕組みができている。	1. 科学的根拠に基づくがん検診の対象となる検診項目について、県及び県生活習慣病検診協議会による検討が着手され、決定される。その評価を行う仕組みの構築が着手されている。		県内全ての市町村において、科学的根拠に基づいたがん検診が実施される
5	1. 県および市町村は、がん検診精度管理体制の向上のために、県生活習慣病検診協議会との連携による、がん検診精度管理の向上を行う。	1. がん検診の精度管理に関する適切な指標が設定され、その指標が継続的にモニタリングされている。 2. がん検診の精度管理に関する講習会が、適切な回数実施されている。	1. がん検診の精度管理に関する技術・体制的指標(検診実施機関の体制確保)及びプロセス指標(要精検率、精検受診率、陽性反応的中度など)が設定され、モニタリングが開始され、向上がみられる。 2. がん検診の精度管理に関する講習会が、適切な回数実施され、受講した検診関係医療者の割合が増加する。		県内の全ての市町村において、がん検診に関する適切な精度管理が行われている。

